

お金がないので希望の部活をあきらめた



国民大運動実行委員会県要請

5月11日、山形県国民大運動実行委員会が「子どもの貧困解消を求める要請書」を提出し、私も同席しました。要請内容は子供の貧困の解消を目指しての実態調査、NPOなど「子供の居場所づくり」に取り組む団体への支援強化など8項目にわたっています。



担当課と意見交換する実行委員会のみなさん

県労連の勝見忍議長が吉村美栄子知事あての要請書を手渡し、佐藤勇・子育て支援課長ら担当課と意見交換を行いました。要請書とともに教職員組合や学童保育の組合員を対象に行った調査レポートも提出されましたが、「身体にあつた服や靴を買ってもらえず小さい服を着ている」

「お金がないとの理由で中学校では希望の部活をあきらめた」など・・・報告の中には生活保護につなげた深刻な内容もありました。

県からは「今年度、未就学児児童、生徒、保護者などを対象に実態調査を行って、今後の施策に反映させていきたい」との回答がありました。

山形県高齢者大会に参加

5月20日、上市市を会場に第6回山形県高齢者大会が開かれ、私も参加しました。午前中は、第一分科会「介護保険の改善を許さず公的介護保障の充実」に参加。

介護施設で相談員をしている方からの介護保険の現状についての報告と問題提起をうけた後、参加者から、介護した経験、介

6月県議会は
県議会6月定例会は6月19日開会予定
請願締切日も同日です。
6月25日(月)
渡辺ゆり子 一般質問の予定です。

2018年6月17日
Ⅲ-39号
◇発行◇
日本共産党県議会議員
渡辺 ゆり子
＜連絡先＞
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3241(受付)
自宅：山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365

護事業所の運営の厳しさ、働きの確保の悩みなどの発言があり、社会保障の充実の課題の切実さを痛感しました。



第3分科会の参加者のみなさん

命を守る母親の会

山形県母親大会に参加
6月3日、ビッグウイングで第48回山形県母親大会が開催され私も参加しました。午前中は、分科会やシンポジウムが開催され、午後はフォトジャーナリストでサンデーモーニングのコメンテーターとして知られる安田

ゆり子の視点

ウソつきだね 安倍政権

この間対話した果民のみなさんの声の数々、「テレビみてると国会答弁でウソついてるのがわかる。くのせいっぱい」改悪だ」の声。こう

安倍首相も麻生大臣「医療や介護の保険も早くやめてほしい」料の負担が増えて受け止めず無視する「自分のお友達ばつ元に残る金が減って安倍政権は何としてかりよくしておかしいく」と日々の暮らしも退陣させるしかない。許されない」しの不安が出されまりません。

「公文書を隠したりす。ごまかしたり国民をばかにしている」な「働き方改革」に對も、国の悪政に立ち

民のみなさんの声のどなど。そして「少ない年を認め、過労死を助 思っています。

金で毎日暮らしてい長ずるのではないか？

5月22日、引きこもり当事者 えました。

の親の会「かたばみの会」が県に支援要望書を提出し、私も同席しました。

20代後半から30代で4年かから10年ほど引きこもっている当事者の親の方々が、説明と同時に実状を確認する質実状や思いを訴え、問もなされ、今後につながる懇談になりました。

※山形県では2013年に初め、藤佳子課長らと懇談しました。要望が引きこもり状態で40歳未満が855人、40歳代以上が752人で約45%を占め、若者だけの問題ではないことが明らかになっています。県内では若者相談支援の拠点が設置され徐々に認知されるようになってきました。県では今年度、5年ぶりに調査を実施する予定ですが、それらを踏まえ、また関係者の声を聞き、施策が前に進むように力を尽くしていきたいと思



全体会で講演を聞く県母親大会参加者のみなさん

菜津紀さんの「写真で伝える世界、東北の今」と題した講演が行われました。母親大会ではないつも、それぞれの場で粘り強く考え、学び、行動している女性たちに励まされます。私自身も女性パワーを受け取り。さらに発信していきたいと思

5月22日、引きこもり当事者 えました。

の親の会「かたばみの会」が県に支援要望書を提出し、私も同席しました。

20代後半から30代で4年かから10年ほど引きこもっている当事者の親の方々が、説明と同時に実状を確認する質実状や思いを訴え、問もなされ、今後につながる懇談になりました。

※山形県では2013年に初め、藤佳子課長らと懇談しました。要望が引きこもり状態で40歳未満が855人、40歳代以上が752人で約45%を占め、若者だけの問題ではないことが明らかになっています。県内では若者相談支援の拠点が設置され徐々に認知されるようになってきました。県では今年度、5年ぶりに調査を実施する予定ですが、それらを踏まえ、また関係者の声を聞き、施策が前に進むように力を尽くしていきたいと思